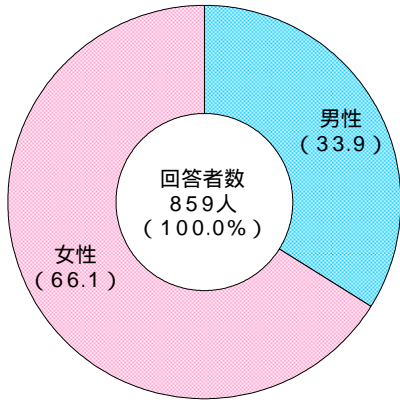


# 食料自給率に関するアンケート結果

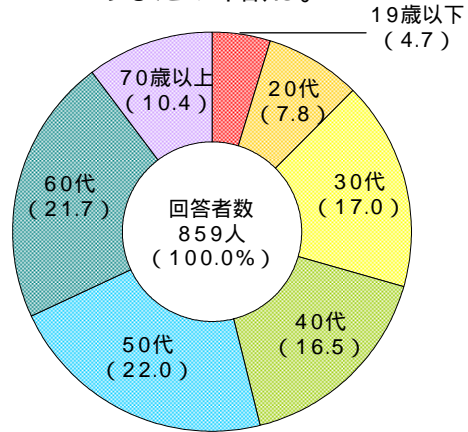
九州農政局長崎農政事務所では、平成19年11月から12月にかけて、長崎県内各地で開催されたイベント等において、来場者を対象に食料自給率に関する意識を把握するため、アンケートを実施しました。

以下は、イベント等の来場者からアンケートに協力いただいた859人を集計・取りまとめたものです。

あなたの性別は。



あなたの年齢は。

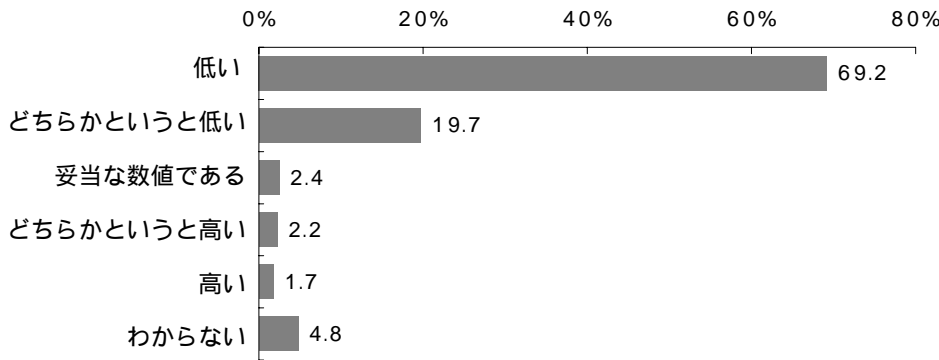


## 1 現在の食料自給率について

- 現在の食料自給率 39% については、「低い」・「どちらかという低い」が約9割 -

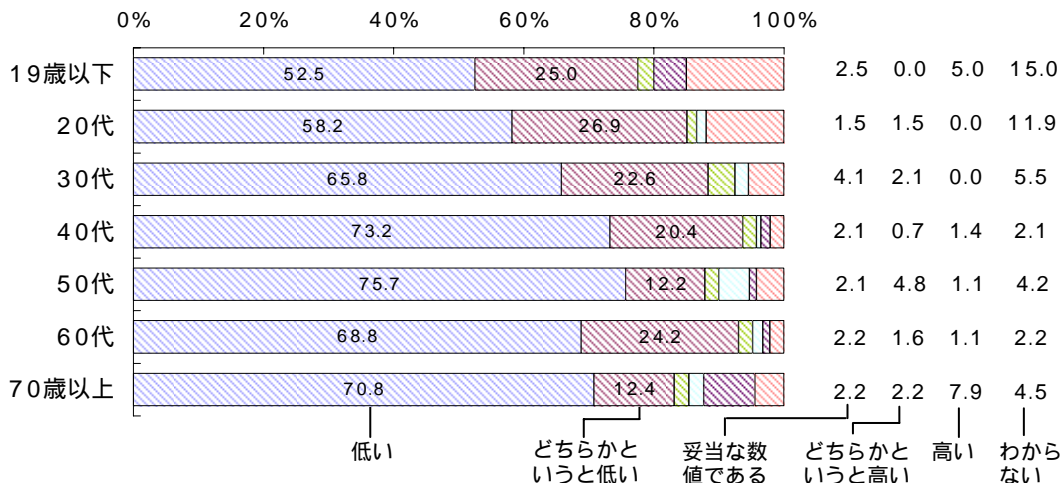
「我が国の食料自給率が現在39%（平成18年度カロリーベース）についてどう思うか」を聞いたところ、約7割が「低い」としており、「どちらかという低い」とあわせると約9割が現在の自給率は低いと思っている。

図1-1 現在の食料自給率について



これを年齢階層別にみると、19歳以下を除いた各年代で8割以上の方が「低い」・「どちらかという低い」と思っている。

図1-2 現在の食料自給率について(年齢階層別)

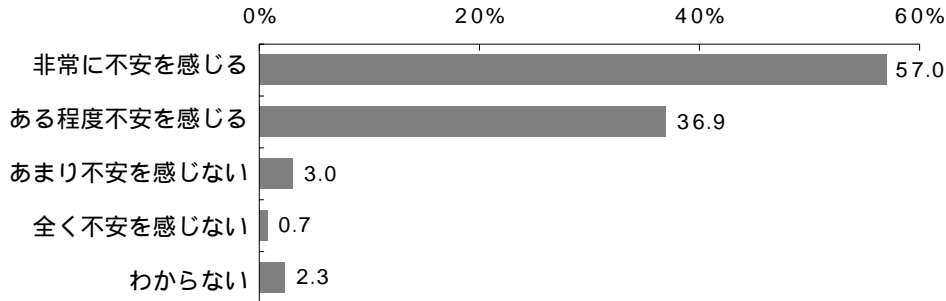


## 2 将来の食料供給について

- 「不安を感じる」が 9 割以上 -

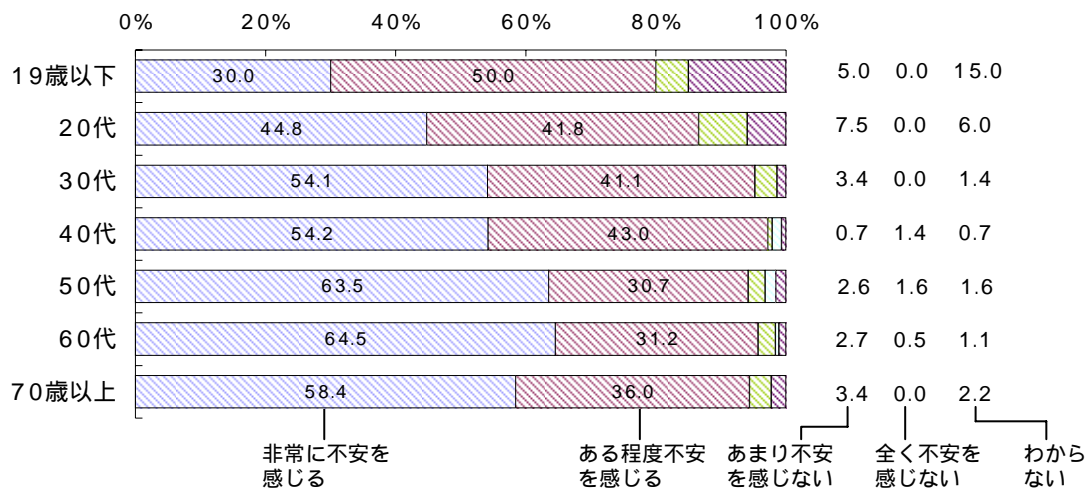
「我が国の将来の食料供給についてどう思うか」を聞いたところ、約 6 割が「非常に不安を感じる」としており、「ある程度不安を感じる」とあわせると 9 割以上が将来の食料供給について不安を感じている。

図2 - 1 将来の食料供給について



これを年齢階層別にみると、30代以上の各年代で 5 割以上の方が「非常に不安を感じる」と思っている。

図2 - 2 将来の食料供給について(年齢階層別)

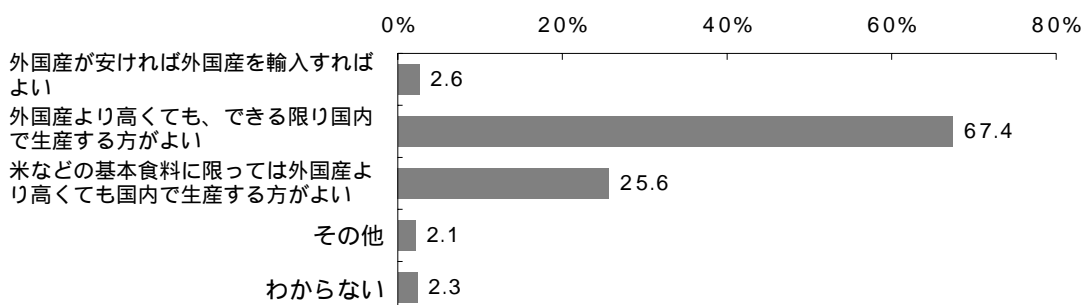


## 3 食料の生産・供給のあり方について

- 「できる限り国内で生産する方がよい」が 9 割以上 -

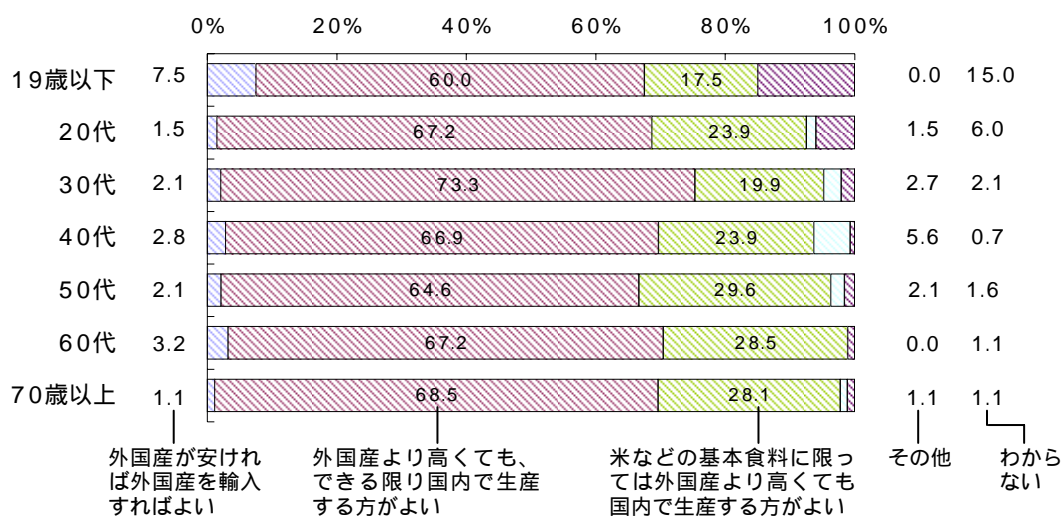
「我が国の食料の生産・供給のあり方についてどう思うか」を聞いたところ、約 7 割が「外国産より高くても、できる限り国内で生産する方がよい」としており、「米などの基本食料に限っては外国産より高くても国内で生産する方がよい」とあわせると、9 割以上が国内で生産する方がよいと思っている。

図3 - 1 食料の生産・供給のあり方について



これを年齢階層別にみると、19歳以下で約1割の方が「外国産が安ければ外国産を輸入すればよい」と思っている。

図3-2 食料の生産・供給のあり方について(年齢階層別)

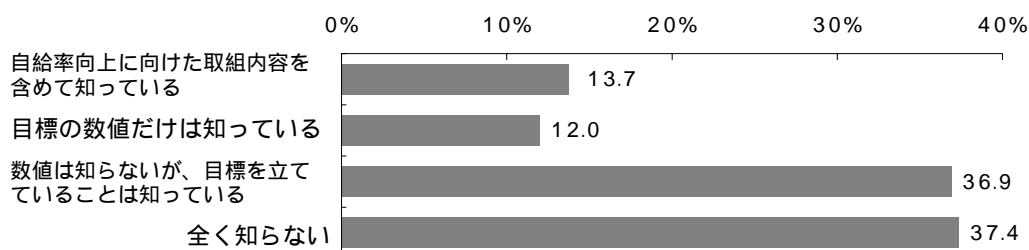


## 4 食料自給率を平成27年度までに45%（カロリーベース）とする目標について

- 「目標を立てていることは知っている」が約6割 -

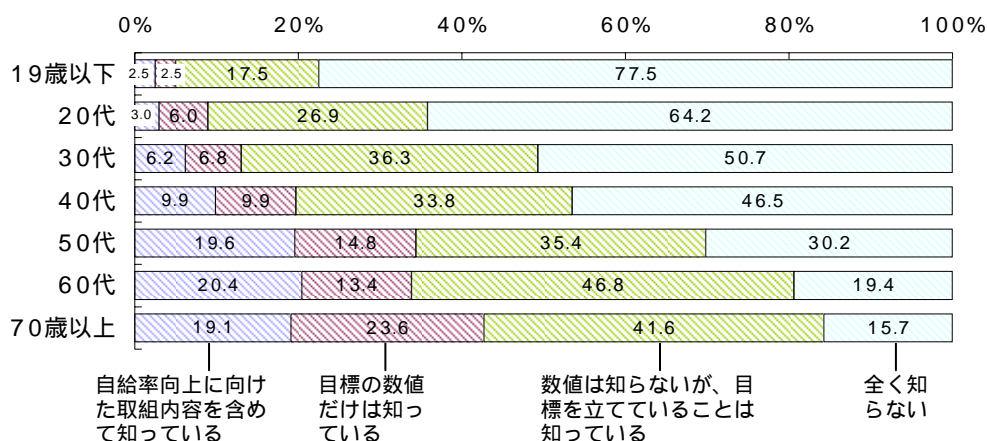
「国は、食料自給率を平成27年度までに45%（カロリーベース）とする目標を立てていることについてどの程度知っているか」を聞いたところ、約4割が「数値は知らないが、目標を立てていることは知っている」としており、「自給率向上に向けた取組内容を含めて知っている」及び「目標の数値だけは知っている」をあわせると約6割が食料自給率の目標を立てていることを知っている。

図4-1 食料自給率の目標について



これを年齢階層別にみると、「目標を立てていることは知っている」のは70歳以上が最も高い。一方、30代以下では「全く知らない」が5割以上となっている。

図4-2 食料自給率の目標について(年齢階層別)

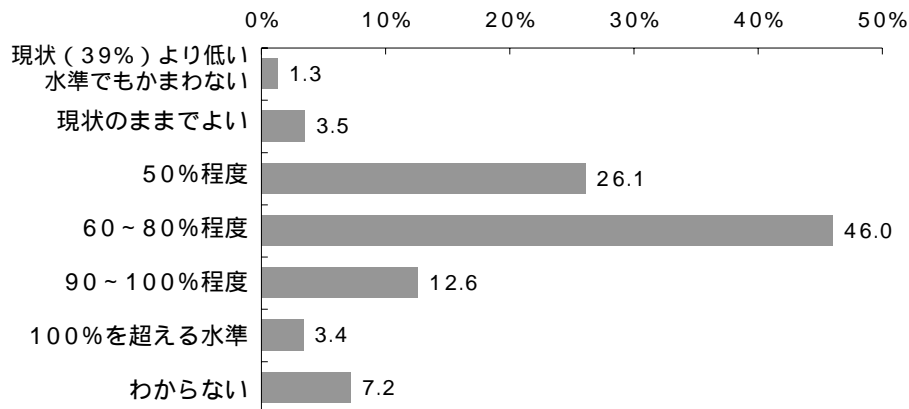


## 5 将来の食料自給率の水準について

- 「自給率50%以上を望む」が **約9割** -

「我が国の将来の食料自給率はどの程度の水準が望ましいか」を聞いたところ、約5割が「60～80%程度」としており、約9割が「50%程度」以上の水準が望ましいと思っている。

図5 将来の食料自給率の水準について

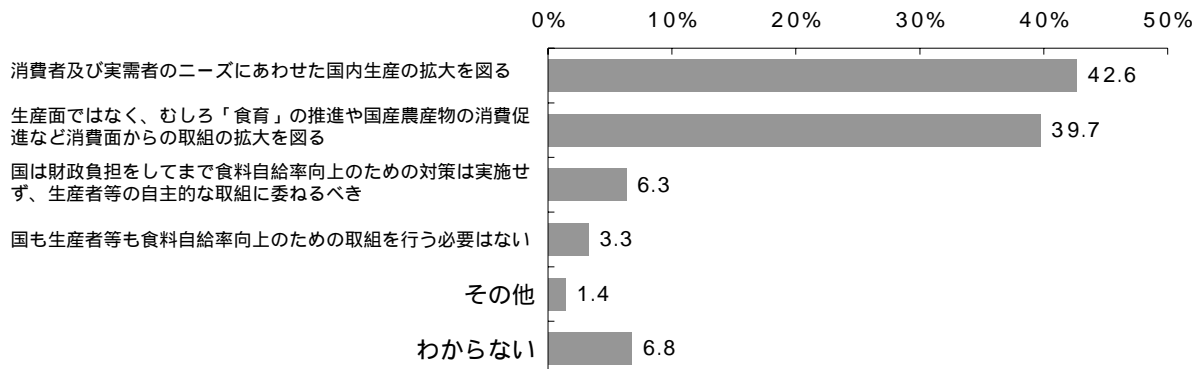


## 6 食料自給率を上げるための施策について

- 「消費者及び実需者のニーズにあわせた国内生産の拡大を図る」が **4割以上** -

「食料自給率を上げるためには、どうすればよいか」を聞いたところ、「消費者及び実需者のニーズにあわせた国内生産の拡大を図る」が最も多く、次いで「生産面ではなく、むしろ「食育」の推進や国産農産物の消費促進など消費面からの取組の拡大を図る」となった。

図6 食料自給率をあげるための施策について

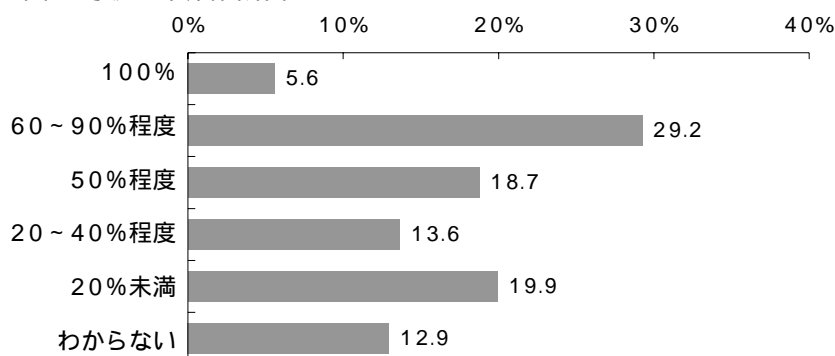


## 7 家庭の自給率について

- 「我が家の自給率50%以上」が **5割以上** -

「あなたの家庭での自給率はどの位と思うか」を聞いたところ、「60～90%程度」と思っている人が最も多かった。

図7 家庭の食料自給率について



連絡先

九州農政局 長崎農政事務所 農政推進課  
TEL:095-845-7123 FAX:095-845-7183